

連合会名

シニアクラブ浜松市

見守り活動

単位クラブの活動

事業実施主体：『西町シニアクラブ西和会』

(登下校時の見守り)

|                 |  |
|-----------------|--|
| 事業の概要<br>(1) 内容 | ・西町下の通学路で小・中・高構成の朝の投稿を見守る。<br>・通学路の草刈りを行う                              |
| (2) 活動日         | ・令和4年4月～令和5年3月   |
| (3) 会場          | ・浜松市南区西町内の通学路  |
| (4) 参加者         | ①交流対象者 西町下在住小学生・河輪地区在住中・高校生<br>②交流会参加者数 小17、中10、高4名 計31名<br>③会員参加者数 4名 |
| (5) 講師又は指導者数    | 延べ 4名  |
| 事業の成果と課題        | ・朝7時から30分間、未市町下の通学路で小学生を中心に投稿を見守る活動を実施。<br>・無事故で活動を終えることが出来た。          |

【活動の様子】

## 通学の見守り活動



## 通学路の草刈り



その他

単位クラブの活

事業実施主体：『西町シニアクラブ西和会』

(むかしあそびの集い)

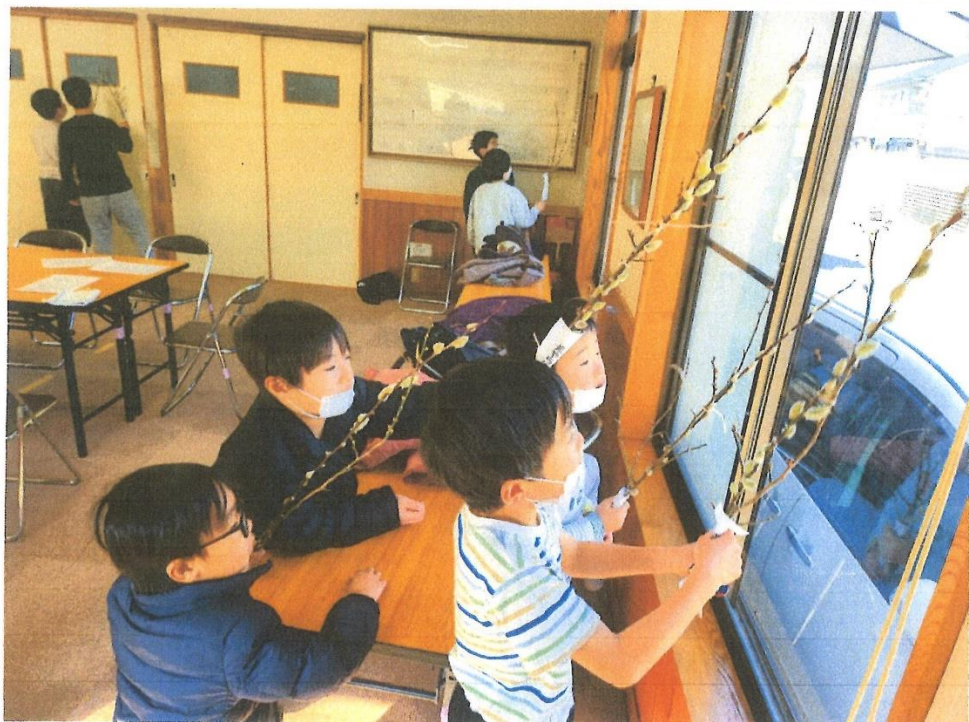
|                 |  |
|-----------------|--|
| 事業の概要<br>(1) 内容 | ・西町では幼児、児童、保護者、西和会会員が一堂に会し、七夕・重陽の節句・節分などの伝統行事やこま回し、お年玉など、昔遊びや季節行事を楽しんでいます。 |
| (2) 活動日         | ・令和4年7月3日、10月2日、令和5年2月5日   |
| (3) 会場          | ・浜松市南区西町公会堂  |
| (4) 参加者         | ①交流対象者 西町在住の幼児、児童、保護者、西和会会員<br>②交流会参加者数 52名<br>③会員参加者数 15名                 |
| (5) 講師又は指導者数    | 延べ 7名  |
| 事業の成果と課題        | ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、集い開催は3回にとどまったが、参加した児童、保護者、会員は重陽の節句などの伝統行事を楽しんだ。      |

【活動の様子】



# 節分

(鬼やら棒)



### 七夕の起源知り、願い込め

南区で住民ら 短冊作りなど楽しむ



七夕飾りも願いを書いた短冊を、それに飾る参加者。浜松市南区の西町公民会堂で開かれた。地域の子どもやお年寄りも七夕の健康、コロナ収束の願いを短冊に込めた。

七日の七夕を前に、その起源や由来を学ぶ催しが三日、浜松市南区の西町公民会堂で開かれた。地域の子どもやお年寄りも七夕の健康、コロナ収束の願いを短冊に込めた。

七夕は奈良時代に中国から日本に伝わり、星を眺める宮中行事となり、江戸時代に庶民の間にも広がったとされる。

催しでは、西町シニアクラブ西和会会長の大橋美穂さん（左）が「七夕に子どもを食べると無病息災で過ごせる」といわれるが、中国伝来の唐菓子・栗餅などの起源と説明。「中国で無病を収めるため、1くぐりた帝の子どもが好きな栗餅を供えた」と由来を語り、「と解説し、栗餅に代

七夕飾りと短冊を飾った短冊を、それに飾る参加者。浜松市南区の西町公民会堂で開かれた。地域の子どもやお年寄りも七夕の健康、コロナ収束の願いを短冊に込めた。

参加者は貝や網飾り、吹き流しを折り紙で作り、五色の短冊に芸事上達、無病息災の願いを込めた。近くに住む石川マチ子さん（左）は「子どもの頃は、サトウワンの葉にたまった朝露をすり、願いを書いたものを、早くコロナが収まって、みんなが健康でいてほしい」とは笑顔だ。

(久下隆光)

### 「重陽の節句」地域で楽しむ

南区のシニアクラブ 浜松市南区西町のシニアクラブ「西和会」

は2日、無病息災や長寿を願う季節行事「重陽の節句」を同区の西町公民会堂で開いた。同行事は菊が美しく咲く旧暦の9月9日（10月中旬ごろ）に行われる節句の一つ。この日は、地域の子どもから高齢者まで20人が参加した。菊の花に

かぶせた綿で顔や体を拭く「菊のきせ綿」や、菊酒の代わりに「菊茶」を飲んで健康を祈った。重陽の節句は「粟の節句」とも言われる。粟おこわも味わった。

西和会会長の大橋美穂さん（74）は「重陽の節句は地域の高齢者と子どもが交流できる場。今後も継続したい」と話した。

無病息災を願う「菊のきせ綿」の綿を手にする参加者。浜松市南区の西町公民会堂で開かれた。

は2日、無病息災や長寿を願う季節行事「重陽の節句」を同区の西町公民会堂で開いた。同行事は菊が美しく咲く旧暦の9月9日（10月中旬ごろ）に行われる節句の一つ。この日は、地域の子どもから高齢者まで20人が参加した。菊の花にかぶせた綿で顔や体を拭く「菊のきせ綿」や、菊酒の代わりに「菊茶」を飲んで健康を祈った。重陽の節句は「粟の節句」とも言われる。粟おこわも味わった。

西和会会長の大橋美穂さん（74）は「重陽の節句は地域の高齢者と子どもが交流できる場。今後も継続したい」と話した。

無病息災を願う「菊のきせ綿」の綿を手にする参加者。浜松市南区の西町公民会堂で開かれた。

### 次世代交流促進で「活動賞」

全国老人クラブが南区の西和会「シニア」に贈る



浜松市南区西町のシニア「西和会」が、隣立った地域活動に贈られる今年度の全国老人クラブ連合会「活動賞」を授賞された。同会は「コロナ禍でも子どもと高齢者に向けた横メロや歌謡曲を歌う」などの活動で、健康維持を目的とした。

「昔遊びの集い」を企画。次世代交流の促進が評価された。

西和会は、地域の高齢者を対象に毎月一回の定例会で、健康維持を目的とした横メロや歌謡曲を歌う「西」などの活動で、健康維持を目的とした。

の体操」や、盆踊り、お手玉キャッチなど、楽しみながら体を動かす催しも開かれた。また、地域の子どもたちにも参加を促し、地域交流の促進を図る。新着は、夏には七夕飾り作り、秋には無病息災や長寿を願う「重陽の節句」を祝う「粟茶」を飲んだ。

西和会の石川八重子さん（74）は「子どもたちと一緒に活動することが、地域交流の促進につながる」と話した。

県内からも、御殿場市、下田市、伊豆市の三団体も受賞した。

(久下隆光)